



サクラが散って若葉の季節です。愛知池の入り口は車が通れなくあいてあります。今日は曇るときもありましたが、日差しが強く降り注ぐ時間が長く、日陰を拾いながら矢作川導水路の北側の岬まで行きました。帰り道、桜並木のトンネルの下を通るときなどは、南風が吹き抜け、気持ちがよかったです。



**アヤメ**

白色部分(外花被片)に網目模様があるのでこの名前がある。乾燥地を好む。



**シラン**

白花の品種もあります。種子でも増え、野生のものはごく少ない。



**メジロ**

てっぺんで大きな声で囀っていました。繁殖の季節なのです。節回しはまねができないほど複雑。



**トウカイコモウセンゴケ**

ピンク色の小さな花が咲き始めました。葉の繊毛から粘液を出して虫を捕まえます。



**セイヨウミヤコグサ**

欧州原産のマメの仲間。別名烏帽子草。



**ニガナ**

草原でニガナが満開です。ほとんどは左の写真のように5弁花ですが場所によっては左のように花びらが多いものが見られます。





### ショウジョウトンボ

羽化したばかりの雌です。雄は雌のような色からアカトンボ以上に赤く、

紅色になります。雄は水際で縄張りをつくり激しく追いかけてこをします。



### ノイバラ

なかなか豪華な花で、ニセアカシアのとともにこの季節に歩いて

いると花をくすぐる良い香りがします。



### ヤマシロオニグモ

円い網をかけます。夏に向け、これからコガネグモの仲間が増えていきます。



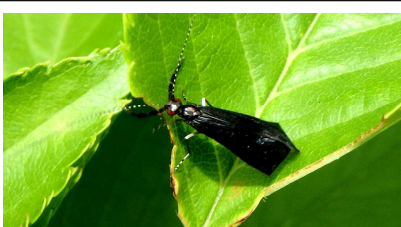
### ユミアシゴミムシダマシ

足が弓状に曲がっているのが名の由来。幼虫は朽ち木を食べます。



### ナワシロイチゴ

5枚のがくが広がり。中央で花弁がおしべやめしべを包んでいます。葉の裏は白い。小さな棘があるので注意。



### アオヒゲナガトビケラ

頭から出ている黒い髭様のものは普通は鍵形に曲げています。目は赤い。幼虫は水生昆虫で砂粒を集めた筒を作りカタツムリのように背負っています。

**植物** トウカイコモウセンゴケ、ニガナ、ハナニガナ、セイヨウミヤコグサ、シロツメクサ、ウスベニチチコグサ、ハハコグサ、ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、オトコヨモギ葉、ニホンタンポポ、ハルジオン、ニオイタチツボスミレ実、ヒメジオン大部分は蕾、コハコベ、ヤエムグラ、ヤブジラミ、コナスビ、カラスノエンドウ、イモカタバミ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、ヘラオオバコ、ネズミムギ、ウシノケグサ、シバ、スゲの仲間3種、ナワシロイチゴ、ヘビイチゴ、ヤブヘビイチゴ、クサイチゴ終わり、ニセアカシア満開、イボタ咲き始め、マメガキ、スイカズラ、アヤメ、シラン、ヤマウルシ、ヤマハゼ、タカノツメ、ガマズミ花蕾、カナメモチ花蕾、ミヤマガマズミ実、ツルウメモドキ実、ヤマモモ実、ミツバアケビ実、サルトリイバラ実、ネムノキ若葉、セイヨウニンジンボク咲かず、**昆虫** キタキチョウ、ツバメシジミ、クロアゲハ、ヒメウラナミジャノメ、マイマイガ幼虫、オビカレハ終齢幼虫、クワゴマダラヒトリ終齢幼虫、アカバキリガ幼虫、ナミテントウ、ナナホシ

テントウ、ユミアシゴミムシダマシ、ヒメクロオトシブミ揺籃、トビハムシの一種、バラルリツツハムシ、キリギリス幼虫、ツチイナゴと幼虫、ヒシバツタ、ナナフシ幼虫、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ雌、アカサシガメ、キムネクマバチ、キアシブトコバチ、アシナガバチの一種、キヒロソツガガンボ、ナミハナアブ、マカリケムシヒキ雌、オオワラジカイガラムシ幼虫、アオヒゲナガトビケラ、**クモ** アシナガグモ雌雄、ミドリアシナガグモ雌雄、ゴミグモ、クヤマシロオニグモ、ササグモ、**鳥・その他** ウグイス、ヒヨドリ、メジロ囀り、コゲラ、ハシボソガラス、ツバメ、カワウ、カルガモ、オオバン、カイツブリ、イセノナミマイマイ、(虫こぶ)ナラメリンゴフシ、イスノハタマフシ、**非常事態宣言解除なら次回は6月11日(木)午前9時30分、水資源機構P前集合、参加費100円**